



シリーズ・親オヤ！？

1月

発達に偏りのある子への理解と対応



「病院の上手な使い方～タイミング」

子どもの様子から発達障害が疑われるとき、すぐに受診するか、しばらく見守るか判断に迷うところです。早く診断を受け、支援につなげることを勧める人もいます。しかし、診断によって、さらに家族、本人が苦しむこともあります。受診が子ども自身の生きやすさにつながるといういいですね。受診の流れとその結果をどう生かすかについて学んでみませんか。

参加者が気になることなどを話し、参加者同士で意見やアドバイスを出し合います。講師からはこれまでの相談経験を踏まえたお話を伺い、皆さんの工夫や知恵とそれらを重ねて、新しい解決方法や可能性を見つけていきます。後半は診断が必要かどうか、タイミング、本人の誘い方、などの受診までの様々な問題や医師への伝え方、診断結果や心理検査をどう理解し、本人にどう説明すればよいのか…などについてお話しいただく予定です。

終了後個別相談も可能です。

日時：1月27日（月） 10時～12時

場所：白山愛児園 地域交流スペース

講師：吉澤 宏次氏 元神奈川県発達障害支援センター神奈川A(エース)ケースワーカー
現在、社会福祉法人 保安寺社会事業部「ふじみのさと」専門員と
法人地域連携担当兼務 その傍ら、各種勉強会講師、親や支援者に対する
支援活動、おやじの会アドバイザー、引きこもり支援など、多岐にわたる活動を続けている。

対象：発達が気になるお子さんの保護者、支援者

参加費：無料

定員：10名程度

締切日：1月20日（月）ただし、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

申込方法：メールにてお申込みください。 hakusan-jikasen@aijien.or.jp

下記の内容をご記入ください。

- ①お名前
- ②住所
- ③電話番号
- ④お子さまの学年、性別
- ⑤このチラシを入手された場所